

富士登山

先崎 良男
(天八出身/千葉県支部)

故郷を離れてはや50年になります。月日の経過と共に、ふるさとの思い出も少なくなりました。それでも多感な少年時代を過ごしたところでもあり、いまだに思い出されます。遠足で行った「夏井川溪谷」「東堂山」「菅谷の「入水鍾乳洞」」「矢大臣山」「林間学校での「磐梯山」などです。でも一番強烈な印象に残っている事は、高度経済成長期に「金の卵」ともはやされて、中学校卒業と同時に、集団就職列車で上京する同級生を駅で涙ながらに見送った光景です。今もその時の友の顔が忘れられません。

最初はハイキングをしていて、段々と要求がエスカレートして、山登りになり、筑波山から始めて、北アルプスの「槍ヶ岳」に高い目標を掲げて日々トレーニングを実行。その過程で富士山一合目(吉田口)から五合目までの登山に参加して完登し、多少の自信もつけ、槍ヶ岳を2泊3日で登り、その余勢をかって、やっぱ一番高い山「富士山」に挑戦することにしました。

単独では不安であり、旅行会社のツアーを利用、1泊2日の予定で登ることにしました。時間的に8月下旬は混雑も少ないと思いましたが、いっぱいでした。富士スバルライン五合目までバスで行き、富士山専属のガイドの先導で八合目まで登り、山小屋1泊です。夕食にカレーを食べて仮眠、午後11時にヘッドランプを着用し頂上に向け出発、山頂に午前4時頃に到着、多くの人がご来光を待っていました。山頂は非常に寒く、万全の準備が必要でした。ご来光に感激し、お鉢巡りをして剣ヶ峰(3776メートル)で記念写真。今年の富士山は世界文化遺産に登録され、より一層人気の山になることでしょう！



ツアーなら装備と体力があれば、誰でも登れます。ぜひ挑戦してみてください。

おいしい牛乳を飲もう
酪農家の皆さんから
おいしい牛乳が届きました

福島県酪農業協同組合小野事業所青年部の方から9月5日、町内の幼稚園・保育園・児童園に牛乳のプレゼントが行われました。

この取り組みは、食育牛乳消費拡大運動の一環として毎年行われており、母が子に最初に与える食物(乳)こそ、生命が生命を繋ぐ大切な栄養源であることを、子どもたちは青年部の方による紙芝居の読み聞かせから学びました。

いただいた牛乳は、各園昼食の時間やおやつ時間に、おいしくいただきました。

今回のご厚意に対し、紙上より厚くお礼申し上げます。



牛乳を味わう子どもたち



紙芝居の読み聞かせの様子

